

新たな風を吹き込む

地域おこし協力隊

地域おこしを手伝ってくれる2名が、知名町に移り住みました。町に新しい風を吹かせてくれる「地域おこし協力隊」——。これから、皆さんと一緒に町を盛り上げていきます！ここでは、二人の自己紹介を含め、地域おこし協力隊について紹介します。

問 企画振興課 電話(84)3162

地域おこし協力隊とは

国が進めている制度で、平成27年度現在、全国673団体の市町村に2625名の隊員が地域づくりの「お手伝い人」として活動しています。

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

知名町での活動は

行政・地域と連携し、知名町内で地域活性化に取り組み住民や地域団体と共同で、①集落コミュニティの支援に関する活動、②移住交流の振興に係る活動、③観光の振興に係る活動、④隊員が自主的に行う地域おこし活動、⑤その他、地域の活性化のために町長が必要と認める活動などに取り組み、任期は最長3年です。

今回、協力隊は知名字と田皆字に配置されます。配置するに至った経緯は、以前より行政と一体となって地域づくりを行っており、地域おこし協力隊の配置を希望していたためです。



かんざと えりな
勸里 絵利奈さん

出身：千葉県

担当字：知名

沖永良部は父の故郷で、幼い頃から何度か遊びに来ていました。父が他界して以来足が遠のいていたのですが、昨年ふと思い立ち、約10年ぶりに1人で遊びに来ました。幼い頃とは違う視点で見る島は、変わらない「大きな自然」、そして「“サービス業”のおもてなし」とは違う「“隣のおじちゃん・おばちゃん”のおもてなし」が妙に心地よく、私の中で「遊びに行きたい島」から「暮らしたい島」へと変わっていきました。

私の前職は、高齢者、子ども、障害者、子育てママなど、地域に住む方が生活をするうえで感じる困りごとの解決に取り組む社会福祉法人の広報担当です。今、「福祉」の方向性は、「互助（地域の中のお互いさまの関係性）」の復活。「隣のおじちゃん・おばちゃん」のおもてなしは、まさに「互助」そのもので、それが文化として根付いている沖永良部は、福祉の最先端になれる島だと思っています。私は、ここでそんな「互助」の関係性を勉強し、福祉を学んだ広報担当者として、みえる形に落とし込んでいきたいです。そして、日本中が沖永良部島に福祉を学びに来るようになったら…！それはもちろんずっと先の話ですが、夢は大きく、実践は楽しく！沖永良部に来て約1か月。出会った個性豊かでパワフルな皆さんと一緒に、きっとなんだってできるはず、と、ワクワクした毎日を送っています。



かま ゆきみさん

出身：山口県

担当字：田皆

知名町のみなさん、はじめまして！

小5の娘と一緒に東京から転居してきて、今は田皆に住んでいるきみちゃんです。

知名町に来る前は、認定NPOで働き、「中高生のための秘密基地b-lab（ビーラボ）」という東京都文京区が設置する中高生の放課後の居場所施設でスタッフをしていました。ビーラボは中高生が「やりたい！」と思ったことにいろいろチャレンジできる場所で、わたしはここで中高生と一緒にフリーペーパーを作ったり、映画を作ったり、いじめやLGBT（性同一性障がい等）といった中高生にとって身近な社会問題について一緒に考えたり、時に楽しく、時にまじめに、中高生と向き合っていました。知名町でも子どもたちはもちろん、地域のみなさんと一緒にわくわくする何かができたらうれしいです。

ここに来て、もう何度も足を運んでいるのが今年の3月7日に国立公園になったばかりの田皆岬です。波と風の音、草木の揺れる音、鳥のさえずりと虫の声が静かに響くこの場所がわたしは大好きです。豊かな自然とあたたかな人たちに囲まれてすすすこれからの3年間がとても楽しみです。これから地域のためにできることをしていきたいと思います。町で見かけたらぜひ声をかけてください。どうぞよろしくお願いします！